



## ステンレスのみ使用

ガードロックが発売

## 腐食少ない南京錠

ガードロック(大阪府豊中市、南栄治社長、06・6152・1830)は、ステンレス製の「パーフェクトステンレス南京錠II写真」を発売した。主流の真ちゅう製の南京錠は、屋外などでの長期使用でキー入れ部分の腐食が進み、施錠や解錠できないケースがある。現在一般的なステンレス南京錠はシャックル(つる)と本体部分がステンレスで、内部は真ちゅうのメッキ仕上げ製品。錠の横幅別に5種類揃え、価格は標準の40ミリ型で6600円程度。大手生活雑貨店やインターネットで販売する。

オールステンレス製は加工性の問題で製品化は難しかったという。ガードロックは大阪市立工業研究所(大阪府城東区)で、濃度5%の塩水を240時間噴霧する評価テストを実施した。その結果、真ちゅう製は鍵穴の腐食でキー挿入ができなかった。一方、パーフェクトステンレス南京錠はわずかな赤さびがあった程度で、錠前機能に問題がなかった。